



2026年6月25日

富良野線走行車両に車輪傷が多数発見された事象について(点検結果)

6月24日、富良野線において複数のH100形車両の車輪に小さな傷が多数、車輪全周にわたって発見される事象が発生し、原因の調査のため、列車を運休して線路点検を行いました。つきましては、線路点検が完了したことから、点検結果をお知らせいたします。

1. 概況
- 6月24日11時00分頃、旭川運転所構内においてH100形車両の交番検査(※)を実施した際、旭川から富良野方面に向かって左側の車輪4枚に小さな傷が多数、車輪全周にわたって発生しているのを発見しました。6月22日にも他のH100形1両で同種の傷を認めていたことから、その他の車両を確認したところ、富良野線を走行した車両14両で同様の傷が発生していることを認めました。

原因を調査するため、富良野線において6月25日に列車を運休して線路点検を実施しておりました。

※ 交番検査：車両を使用していない期間を除いて90日を超えない期間ごとに行う、車両の状態及び機能についての定期検査のこと

2. 点検結果
- 6月25日に千代ヶ岡～美瑛駅間の線路点検を行った結果、北美瑛～美瑛駅間でレールの表面に金属片が圧着しているのを発見しました。

3. 原因(推定)
- レールから剥離した金属片がレール表面に圧着し、その金属片の上を車輪が走行することで車輪に傷ができたものと推定しています。



金属片発見箇所 全景



レールの表面に圧着した金属片